

第3期共有デジタル地図(数値地形図)共同整備(修正)事業 提案書記載事項及び評価基準

発注資料10

大項目		中項目	小項目	評価基準	技術評価点			様式	備 考				
					配点	小項目 配点	大項目 配点						
企業 の 能力 等	社会 貢 献 度	社会貢献度	① 次世代育成支援活動実績 ② 男女共同参画活動実績 ③ 障がい者雇用実績 ④ 環境マネジメントシステムの認証 (ISO14001、M-EMS) 【共同企業体の代表構成員を評価します】	左欄の①～④のうち、該当する項目数		8	35	様式b3 様式b9	下記の実績(認証取得)の該当項目数により評価します。 〈次世代育成支援活動実績〉 育児休業制度が就業規則等に規定されている場合に評価します。 (確認は、提出された就業規則等の写しにより行います。) 〈男女共同参画活動実績〉 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画(※1)を策定している場合に評価します。 確認は、都道府県労働局に提出された一般事業主行動計画策定書の写し(第一面に労働局の受付印が押印されたもの)により行います。 ※1: 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(平成28年4月1日施行)が施行され、労働者が301人以上の企業に策定が義務づけられた行動計画です。(300人以下の企業は努力義務です。) 〈障がい者雇用実績〉 障害者の雇用の促進等に関する法律に基づく障がい者雇用の有無により評価します。 確認は、法律により雇用が義務づけられている企業の場合、法定雇用が達成されていることが確認できる書類(職業安定所へ提出した最新(当該年度のものに限る)の障害者雇用状況報告書等)の写しにより行います。 それ以外の企業の場合、雇用している障がい者の障害者手帳の写しや手帳番号等とその者の常時雇用(3ヶ月以上)のわかる書類(保険証等の写し)により確認します。 〈ISO14001、M-EMSの認証取得〉 ISO14001、M-EMS(ステップ2)又は(ステップ1)の認証取得の有無により評価します。 (確認は、提出された評価機関による登録証等の写しにより行います。) ・認証されている範囲がわかる付属書等の写しも提出してください。 ・ISO14001、M-EMS(ステップ2)、M-EMS(ステップ1)のいずれかの認証があれば評価します。 ・ISO14001とM-EMSに複数の認証を受けている場合でも1項目の実績として評価します。 ・ISO14001は、当該業務の入札に参加する者が認証を受けている場合に評価します。(付属書の添付等)				
				①～④のうち4項目の実績(認証取得)あり	8								
				①～④のうち3項目の実績(認証取得)あり	7								
				①～④のうち2項目の実績(認証取得)あり	6								
				①～④のうち1項目の実績(認証取得)あり	4								
				実績(認証取得)なし	0								
				企業 の 技 術 力 等	企業の技術力等					品質マネジメントシステムの認証 (ISO9000S) 【共同企業体の代表構成員を評価します】	有	2	2
	無	0											
	業務成績 【共同企業体の代表構成員を評価します】	85点以上	5			5							
		80点以上85点未満	4										
		75点以上80点未満	3										
		70点以上75点未満	2										
70点未満		0											
平成19年度以降における契約金額3百万円以上の評価対象測量業務の実績件数 【共同企業体の代表構成員を評価します】		5件以上	20				20						
	4件	15											
	3件	10											
	2件	5											
	1件以下	0											
技術 者 要 件	配置 予 定 技 術 者	総括 責任 者 ※	保有資格			資格の保有状況『空間情報総括監理技術者』	資格を有している	5	55	様式b5 様式b9	総括責任者の資格の保有状況により評価します。 評価の対象となる資格は、公益社団法人日本測量協会が認定する『空間情報総括監理技術者』とします。 平成19年度以降に完了した測量業務で、契約金額が3百万円以上の評価対象測量業務における主任技術者又は担当技術者としての実績について評価します。 ○評価対象業務1の実績とは「公共測量作業規程における地図情報レベル1000又は2500のデジタル地図整備を含む業務」を指します。 ○評価対象業務2の実績とは「異なる精度(地図情報レベル)の地図データを相互に矛盾が生じないように編集、統合し、地図情報レベル2500以上の空間(基盤地図)データの作成を含む業務」を指します。 ・テクリス又はアグリス登録の測量業務に限りです。 ・申請できる業務実績は、評価対象業務1・2それぞれについて1件に限りです。また、評価対象業務1・2が同一あるいは別個の業務であるかは問いません。 ・業務実績は原則としてテクリス又はアグリスに登録の業務名及び業務概要により確認しますので、テクリス又はアグリスの写しを提出してください。 ただし、テクリス又はアグリスにより評価対象測量業務であることが確認できない場合については、テクリス又はアグリスの写しに加え別途判断できる資料を提出してください。 ※提出資料により判断できない場合は評価しません。		
						資格を有していない	0						
			業務執行技術力			平成19年度以降における契約金額3百万円以上の評価対象業務における主任技術者又は担当技術者としての実績	評価対象業務1及び2の両方の実績有り	20				20	
				評価対象業務1又は2のいずれか片方の実績有り	10								
				実績無し	0								
				手持ち業務件数	配置予定総括責任者の手持ち業務件数		手持ち業務件数 0件	9					9
			手持ち業務件数 1件～3件			6							
			手持ち業務件数 4件～9件			3							
			手持ち業務件数 10件以上			0							
			保有資格	資格の保有状況『空間情報総括監理技術者』	資格を有している	3	3	様式b6 様式b9				技術業務責任者の資格の保有状況により評価します。 評価の対象となる資格は、公益社団法人日本測量協会が認定する『空間情報総括監理技術者』とします。 平成19年度以降に完了した測量業務で、契約金額が3百万円以上の評価対象測量業務における主任技術者又は担当技術者としての実績について評価します。 ○評価対象業務1の実績とは「公共測量作業規程における地図情報レベル1000又は2500のデジタル地図整備を含む業務」を指します。 ○評価対象業務2の実績とは「異なる精度(地図情報レベル)の地図データを相互に矛盾が生じないように編集、統合し、地図情報レベル2500以上の空間(基盤地図)データの作成を含む業務」を指します。 ・テクリス又はアグリス登録の測量業務に限りです。 ・申請できる業務実績は、評価対象業務1・2それぞれについて1件に限りです。また、評価対象業務1・2が同一あるいは別個の業務であるかは問いません。 ・業務実績は原則としてテクリス又はアグリスに登録の業務名及び業務概要により確認しますので、テクリス又はアグリスの写しを提出してください。 ただし、テクリス又はアグリスにより評価対象測量業務であることが確認できない場合については、テクリス又はアグリスの写しに加え別途判断できる資料を提出してください。 ※提出資料により判断できない場合は評価しません。	
					資格を有していない	0							
			業務執行技術力	平成19年度以降における契約金額3百万円以上の評価対象業務における主任技術者又は担当技術者としての実績	評価対象業務1及び2の両方の実績有り	12	12						
					評価対象業務1又は2のいずれか片方の実績有り	6							
					実績無し	0							
			手持ち業務件数	配置予定技術業務責任者の手持ち業務件数	手持ち業務件数 0件	6	6						
					手持ち業務件数 1件～3件	4							
					手持ち業務件数 4件～9件	2							
					手持ち業務件数 10件以上	0							
技術 力 要 件	技術 提 案 等	業務実施方針	業務実施方針	優れている	45	45	様式b7		当該業務は、多数の企業で共同企業体を構成し、三重県下全域の共有デジタル地図を整備(修正)する業務です。 このことを踏まえ、業務全般における重要事項、社会に貢献する為の業務実施体制、品質確保に向けた手法やデータ更新を行うために留意すべき事項とその対策等について着目し、業務実施方針について記載してください。 ※実施方針(工程表や業務フロー等を含む)について、業務の内容、目的を理解し、業務成果の品質向上に資する提案や業務実施方針の妥当性が高い場合に優位に評価します。				
				概ね優れている	40								
				良好である	35								
				概ね良好である	30								
				上記以外	0								
		技術提案	三重県下全域における共有デジタル地図の修正を行う業務であることを踏まえ、特定テーマについてその取組方法等について具体的に記載してください。	優れている	45	45	様式b8		○特定テーマ ①共有デジタル地図の修正作業における留意すべき事項とその対策について具体的に記述してください。 ②共有デジタル地図の運用における留意すべき事項とその対策について具体的に記述してください。 ③県内測量者に対する技術向上、支援、人材育成等について具体的に記述してください。 ④県内市町における地理空間情報の利活用、支援、人材育成等について具体的に記述してください。				
				概ね優れている	40								
				良好である	35								
				概ね良好である	30								
				上記以外	0								
		ヒアリング	専門技術力	優れている	20	20	—	配置予定の総括責任者に対してヒアリングを行い、「専門技術力」について評価します。 配置予定の総括責任者がヒアリングに出席できない場合は、評価しません。					
				概ね優れている	15								
				良好である	10								
				概ね良好である	5								
				上記以外	0								
					200	※技術提案書の作成にあたっては、「技術提案書作成等説明書」を必ず確認してください。							

※ 総括責任者及び技術業務責任者とは、第3期共有デジタル地図(数値地形図)共同整備(修正)業務委託基本仕様書第11条に規定する責任者をいいます。

○評価値(加算方式)＝価格評価点[標準点(70点)×(予定価格－入札価格)／(予定価格－基準価格)]+技術評価点[200点]
※ ただし、入札価格が基準価格を下回る場合の価格評価点は、低価格受注による業務の品質低下の防止を図るため一律最高点で評価します。
○価格評価点は小数第6位以下を切り捨て小数第5位までとし、技術評価点は小数第1位以下を切り捨て整数までとします。又、評価値は計算されたそれぞれの点数の合計点で小数第5位まで表示するものとします。